

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 エイズ中核拠点病院整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内 4655)

E-mail: c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 358 千円 (前年度予算額：358 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	358	179	0	0	0	0	0	0	179
要求額	358	179	0	0	0	0	0	0	179
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成19年3月、県内のエイズ治療を一層推進していくため、岐阜大学医学部附属病院をエイズ治療中核拠点病院として選定した。

エイズ治療中核拠点病院を核とした県内エイズ治療拠点病院(岐阜県総合医療センター、県立多治見病院、県立下呂温泉病院、木沢記念病院、高山赤十字病院、国立病院機構長良医療センター、大垣市民病院)の連携強化、エイズ診療従事者の人材育成と資質向上を図っている。

引き続き、この体制を維持し、H I V感染者等への適切な医療を提供していく必要がある。

(2) 事業内容

- ・県内の治療拠点病院の医療従事者等に対する各種研修を実施し、エイズ診療にあたる人材育成を図るため、その事業について中核拠点病院に委託
- ・県内の治療拠点病院やH I V診療・ケアに関する情報を治療拠点病院の従事者に対して提供する事業を中核拠点病院に委託
- ・中核拠点病院は、拠点治療病院との連携を進めるため、連絡協議会を設置し、連携調整を行う

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
委託料	358	エイズ治療中核拠点病院への業務委託
合計	358	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
エイズ治療は新たな方法が次々と開発されており、エイズ診療従事者の人材育成と資質向上を図ることは、常に必要となっている。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
		1 回 (H29)	1 回 (H30)			
エイズ治療連絡協議会 の開催	(H)	1 回 (H29)	1 回 (H30)	1 回 (R1) <small>※書面開催</small>	1 回 (R3)	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - エイズ治療連絡協議会の開催
 - H I V / A I D S 研修会・講演会の開催
 - エイズ治療拠点病院への助言

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
H I V 感染者やエイズ患者に対し、適切な医療が提供される。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	エイズ治療は新たな方法が次々と開発されており、エイズ診療従事者の人材育成と資質向上を図ることは、常に必要となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	岐阜大学医学部附属病院において、毎年有効な事業が実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	県内のエイズ診療の中心的な医療機関である岐阜大学医学部附属病院に実施を委託することで、効率的に事業を実施できている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>エイズ治療は新たな方法が次々と開発されており、エイズ診療従事者の人材育成と資質向上を図ることは、常に必要となっている。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>引き続き、エイズ治療の体制を維持し、H I V感染者等への適切な医療の提供していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------